



春の渉成園(東本願寺飛地境内)

手をつなぐとも

等友

S
60
・
10
・
i
生

〒111-0041
台東区元浅草
2-10-17
3841-2844
真宗大谷派
勝龍山
等覚寺
住職
朝倉創

令和7年3月
第114号
責任編集
朝倉 翔

あいつは嫌い これは駄目

あいつは困る こいつはいいと

切り続ける

どうやら私はハサミのようだ

平野 修

そうそう思い通りにはならないものだと自分自身に
言い聞かせるも、「私が正しい」「なぜわかっても
らえないのか」と文句や愚痴が次から次へ溢れ出て
くる。私たち一人一人が、物事を判断する価値観を
持っている。その価値観で世の中の善悪、優劣、損
得等々をはかり、判断している。我が思いにおさま
るように現実を切り取っているのである。が、そも
そも現実とは人知を超えた、一個人の価値観でははか
りきれない世界である。それををはかれると思ってい
るところに、愚痴が溢れる生活の原因があるので
ないだろうか。

(真宗大谷派難波別院ホームページより)

はじめに

早いもので令和七年も三ヶ月が過ぎようとしています。今回の等友では、昨年十月の報恩講でのご法話の一部を紹介いたします。

昨年の報恩講では、源隆寺の白川副住職（等覚寺住職と年が一つ下と近いこともあり親友のような付き合いです）をお招きしご法話をいただきました。それではどうぞ。



法話紹介

報恩講（二〇二四年十月）の法話

◎神社とお寺

皆さん、念仏して何かいいことありましたか。宝くじ当たったとかないですか。神棚や仏壇によく宝くじが置いてあったりしますけど、念仏したら宝くじ当たりますかね。そういうようなことを今日はお話したいなと思います。ご利益のをごを隠すと利益になります。利益と言えば皆さんも何となくわかりますよね。会社の利益とか、自分の利益になるとかそういう意味になります。これにしが付くとかぐりやくと読むようになります。神様とか仏様が人に対して与える恵みとか幸運ということとです。ここで皆様にクイズです。浄土真宗になくて、他のお寺や神社にあるものは何でしょうか？お守り、おみくじ、御札、御朱印、絵馬、破魔矢。こういった類のものは実は浄

土真宗のお寺には一切ありません。これは一体なぜなのか。他の宗派のお寺や神社はそうだったものがどちらかというと貴重な収入源になってますが、私ども浄土真宗では売りません。お配りすることもありません。これが私どもの浄土真宗を表していると思います。

神社とお寺、何が違いますか。まず、崇めるものが、神様か仏様かですね。神社って何をしに行くところですか。願い事をする所ですね。私も十七歳の時初詣に行きました。その帰りに交通事故に遭いました。お賽銭が五円だったのがいけなかったのかなとか、そんなことも思いましたけど。皆さんももしかしたらこんな経験、あるかもしれないですね。初詣に行った年は不幸なことが全く起こらなかったですか。そんなこともないですよ。でも、神社を訴えましたか。おみくじ引いて大吉だったのに、悪いことが起こったじゃないかって訴えた話は聞かないですよ。みんな何となくわかってるんですよ。これ本当

にその通りなのかなって。何となく引いて、おみくじで大吉が出たからラッキー、今年一年大丈夫みたい。浄土真宗ははっきり言ってしまえば、そういうものに惑わされないと、何があるかといったら、南無阿弥陀仏しかないんだよと、こういう教えですよ。大吉が出ようが凶が出ようが、私たちには南無阿弥陀仏があるから大丈夫なんだというのが、この浄土真宗の本当に大切なところではないかなと思います。



◎幸せの亀？

葛飾区亀有に蓮光寺というお寺があります。蓮光寺は大きくて立派なお寺さんで、裏手には池があり、そこには亀がいるそうです。お寺のホームページにこう書いてありました。「蓮光寺には亀有というだけあって、亀がいる。その亀を見た人には、いいことがあったり、悪いことがあったり、何もなかったりします。」これ、面白いなと思いました。今まで行ったことのあるお寺や神社では、こういう書き方はしていませんでした。亀を見たらいいことがあります、ご利益があります。こう書かれるのが普通だと思っていました。ですが蓮光寺のご住職はそういう書き方をせずに、いいことがあったり悪いことがあったり、何もなかったりしますと。要するにどれかが必ず起こるということですね。亀を見たところで結局何が起こるかわからないということですよ。

そこで、お念仏をしたからといって何があ

るかということですね。皆様が今日報恩講にお参りに来られて、阿弥陀さんの前で手を合わせ一生懸命正信偈をお勤めしましたけど、家に帰って何かいいことがあるんでしょうか。もしかしたらいいことがあります。でも悪いこともあるし、何もなかったりします。亀と同じですよ。

◎私たちは煩惱でできている

ここで、江戸時代に流行った俗歌（流行り歌）を皆様にちよつとご紹介します。

「いつも三月花の頃。お前十九でわしゃ二十歳。死なぬ子三人親孝行。使って減らぬ金百両。死んでも命がありますように」これ、私たちの欲望を表してないですか。いつも三月花の頃というのは、ちよつどいい陽気で花のいい香りが漂ってくるころが、いつもだったらいいなど。お前十九歳わし二十歳。いつまでも年を取りたくない。死なぬ子三人皆孝行。親孝行の子が三人いたらどれだけ楽だろ

うと。使って減らぬ金百両。使っても減らないお金が欲しい。死んでも命があるよう。長生きしたいなとか、いつまでも健康でいたいなどということ。これは私たち人間の欲望を表した歌だと伝わっておりますが、私たちはここにもう一つ、ヒガミというものがつきますね。いいな、あそこのお宅はこんなに寒いのにハワイに行って、とか。親鸞聖人が言うには、人間は煩惱成就の凡夫人ほんぶにんと言うそうです。煩惱がある、とかではなくて、煩惱が成就してしまっている。百パーセント煩惱なんだそうです。百回除夜の鐘を叩いたところで、煩惱がなくなるわけじゃない。なぜかと言うと、煩惱でできているからです。そんな私たちに対して光を当ててくださっている方が阿弥陀さんということです。煩惱はあるけれど、阿弥陀さんの助けが必要です。なくても生きていきますね、別にね。でもそれでも気づいてくれ気づいてくれて言ってくれているのが阿弥陀さんであると、私はいた

いております。

◎浄土真宗のご利益

浄土真宗のご利益って一体何なのか。歎異抄という本をご存知ですか。他の宗派の宗教者からも絶賛されるような有名な本です。親鸞聖人のお弟子さんである唯円という方が書かれました。この歎異抄という本は、前半は唯円が親鸞聖人から耳で実際に聞いた言葉をまとめたものです。後半は、親鸞聖人が亡くなった後に、親鸞聖人から伝わったことではない教えが広まってしまっていることが痛ましい、違いますよということが書かれています。その本の一番最初にこのように書かれて



おります。

「弥陀の誓願不思議にたすけられまいらせて、往生をばとぐるなりと信じて念仏申さんと思いい立つところのおおるとき、すなはち摂取不捨の利益にあずけしめたもうなり。」

摂取不捨。おさめ取って捨てないということですよ。それが浄土真宗の利益なんだと、ここに初めてはっきりと書かれております。

皆様今念仏してますけれども、念仏しようと思いい立つ心はおこってますか。私が一緒に念仏しましょうと言って念仏しますが、ああ、本当に必要なのは念仏だったんだなって思っただけ念仏をした経験はありますか。それを、浄土真宗では信心と言われている。念仏を本当に思いい立つ心が起こった時すなわち、おさめ取って捨てないご利益をいただくことができるんだということなのです。おさめ取って捨てないということはどういうことか。阿弥陀さんのご木像があそこにありますけど、あのご木像が歩いて、夜寝る時も一



講師紹介

源隆寺副住職 白川 亮先生

一般の家庭で生まれ育ち、その後僧侶の道へ。
お若いのにしっかりと教えを学ばれています。



緒に添い寝してくれるとか、そういうことではなくて、阿弥陀さんが必ずお前を見捨てないぞと、必ずこれからの人生に寄り添って生きていくぞと、だから安心してこれについていくなのです。私はこのおさめ取って捨てない、この利益こそが浄土真宗の一番のご利益ではないかなと思っております。《終わり》

他力本願の意味知ってる？

「他力本願はダメだよ」こんな言葉、よく聞きますよね。他力本願というと、人まかせだとか他人をあてにするという意味で使われております。しかし仏教的に言うと、まったく違う意味になります。今回は他力本願という言葉について、一緒に学んでいきましょう。

一般的な意味合いとマイナスなイメージもある他力本願。他力本願という言葉は、もともと仏教の言葉なのです。そして仏教的には、とても大切な意味があります。まずは「他力」。字だけ見ると他の人の力というように読み取れますが、一体誰の力なのでしょう。これは阿弥陀如来の力（はたらき）を意味します。そして「本願」。本当の願いと書かれています。これは阿弥陀如来が私たちを平等に救おうとして下さる願いを指します。

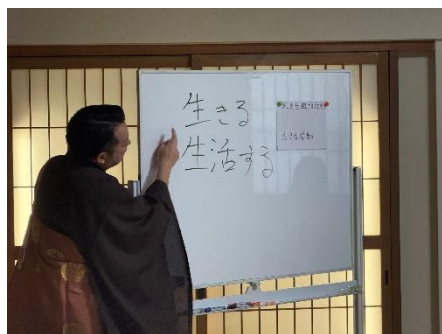
阿弥陀如来は遠い昔、法蔵菩薩として仏に

なろうと修行をしていた時、四十八個の願い（誓い）を立てられました。自分が仏となった時にはこの願いをすべて叶えるという誓いです。この四十八個の願いを本願と呼びます。そして法蔵菩薩は長い修行を経て阿弥陀如来となられたので、この願いは成就されたわけです。いまでは私たちを常にすくおうすくおうとはたらきかけて下さっています。このはたらきを「他力本願」といいます。

このように、本来はともありがたい言葉だったわけですが、現在ではその字のイメージで違う意味で使われてしまっております。ぜひこれをご縁に、「他力本願」をあらためて考えていただき、この阿弥陀如来の本願を生きていくより所にして、いのちを終えた後のことは心配せずに、歩んでいる今を精一杯生き抜いていただきたいと願います。

行事紹介

令和七年一月二十六日に新年会法要をお勤めいたしました。お勤めの後には楽しくお食事や抽選会も行い、みなさまと一緒に新年を慶び合うことができました。



じゃんけん大会



ドキドキの抽選発表
何が当たるかな？

編集後記



こんにちは。翔です。三月はご存じの通り別れの季節。うちの次男も幼稚園を卒園することになりました。ついこないだ生まれてきたと思っていました。もう来月にはランドセルを背負う小学一年生。本当に月日が過ぎるのは早いですね。あらためて実感した今日この頃です。

さて今回は他力本願という言葉をご紹介させていただきました。この言葉は普通に過ごしているとよくないイメージの言葉ですが、本来の言葉の意味を調べるとまったく逆のあらがたい言葉であったという面白い言葉だと思っています。このように現在当たり前のように使っている言葉でも、実は仏教の言葉が由来だったというものがあります。みなさんもぜひ調べてみてください！

備忘録 く法事の準備く

○まずはお寺へ日程連絡

回忌の確認をし、ご家族で法要希望日をお決めになりお早目にお寺へご連絡ください

○当日必要なもの

- ・お布施（ご先祖さま合同で実施する場合は、ご先祖さま毎に包みを分けて下さい）
- ・お花代（本堂にお飾りするお花代で、一万円の実費）

○ご希望によってお持ちください

- ・お供物
- ・過去帳やお位牌
- ・遺影（小さいもの）

○服装は華美でなければ平服でも結構です。

（ご参加される方同士でお話しされてお決めください）

※お寺へお包みいただく表書きは全て「布施」と書いていただければ結構です。浄土真宗の場合は「読経料」や「霊前」という言葉は用いません。

備忘録 くお焼香作法く

○お焼香のタイミング

お勤め中に声が掛かりますので、それまでお待ちください。順番には決まりはないので、施主の方から前に出てご焼香ください

○お焼香作法

・焼香机の前に進み、合掌せずにご本尊を仰ぎ見ます。赤い香盒（香入れ）の蓋を開けて香盒の右に置きます。

・右手でお香を二回、香炉にくべます。（お香を額に頂くことはしません）お香の乱れを指先で直してから「南無阿弥陀仏」を称えて合掌礼拝をします。

・自分の後にお焼香する方がいれば蓋はそのまにし、最後であれば蓋を閉めて自席に戻ります。

備忘録 ～お葬式について～

○事前のご相談もお気軽に

亡くなられた後ではバタバタとしてゆつくり検討する時間がありません。お寺にご連絡いただければ葬儀までの流れなどご不明、ご不安な点のご説明もさせていただきます。

○葬儀の場所

基本的にどちらにでも伺わせていただきます。遠方でも泊まりがけでお勤めさせていただいておりますので気にせずにご依頼ください。また、可能な方はぜひお寺で葬儀を。故人が生前ご縁のあった等覚寺の本堂で、あたたかくおごそかなご葬儀をすることができます。

○葬儀の布施

この時お預かりする布施は通夜葬儀のお勤めの対価ではなく、亡くなった時をご縁にお寺の護持のためお納めいただくものです。どうぞお気軽にご相談ください。

備忘録 ～ご納骨について～

○ご納骨のみはお受けできません

永代供養墓ではなく一般墓地をご利用の場合、浄土真宗の教義に則って、葬儀式をお勤めしてからのご納骨となります。式のやり方のご希望等ご相談に乗れる部分もありますので、必ず火葬前にご連絡ください。

ご披露

等友へのご懇志

加藤伊知郎様 小島栄様 (順不同)

いつもご支援いただきまして、誠にありがとうございます。この等友誌や等友会は、こうしたご支援から成り立っております。

令和七年年回表

一周忌	令和六年
三回忌	令和五年
七回忌	平成三十一・令和元年
十三回忌	平成二十五年
十七回忌	平成二十一年
二十三回忌	平成十五年
二十七回忌	平成十一年
三十三回忌	平成五年
三十七回忌	昭和六十四・平成元年
四十三回忌	昭和五十八年
四十七回忌	昭和五十四年
五十回忌	昭和五十一年
七十回忌	昭和三十一年
百回忌	大正十五・昭和元年

令和七年度行事予定

七月十三日～十六日

お盆

七月十三日（日）

盂蘭盆会法要

九月二十日～二十六日

秋のお彼岸

十月二十六日（日）

報恩講

令和八年

一月二十五日（日）

新年会

三月十七日～二十三日

春のお彼岸

◎お気軽にご参加ください。

※あくまで予定です。

開催が確定した行事は必ず事前にご案内いたしますので、別途ご確認ください。

